



普通科専門コース 充実・改善プログラム



「これからの県立高校のあり方」に基づく

具体的な取組みの方向性

平成23年12月

神奈川県教育委員会

目 次

普通科高校における特色ある高校づくりの推進 ～普通科専門コース設置校～	2
普通科専門コースの個別計画について	4
普通科専門コース個別計画 充実・改善の方向性	5
(1) 神奈川県立白山高等学校	6
(2) 神奈川県立荏田高等学校	8
(3) 神奈川県立上矢部高等学校	10
(4) 神奈川県立横浜南陵高等学校	12
(5) 神奈川県立磯子高等学校	14
(6) 神奈川県立生田高等学校	16
(7) 神奈川県立高浜高等学校	18
(8) 神奈川県立西湘高等学校	20
(9) 神奈川県立山北高等学校	22
(10) 神奈川県立厚木北高等学校	24
(11) 神奈川県立有馬高等学校	26
(12) 神奈川県立綾瀬西高等学校	28
(13) 神奈川県立津久井高等学校	30

普通科高校における特色ある高校づくりの推進

～普通科専門コース設置校～

これまで進めてきた県立高校改革推進計画を通じ、活力ある学校規模を維持し、個が生きる多様で柔軟な教育を提供するために、平成22年度までに新しいタイプの高校の設置を伴う再編が進み、現在、県立高校は144校(分校1校含む)となっています。

学科別に見ると、普通科111校(うち1校は全日制が学年制で定時制は単位制)、専門学科22校、総合学科15校が設置されており、学年制の普通科高校は県立高校の中で最も多い98校となっています。

学年制の普通科高校にあつて、普通教科・科目の学習を中心としながら、国際、芸術、スポーツ、福祉、理数といった特定の専門分野の科目を3年間で10～20単位学ぶことのできる教育課程を持つ専門コースにおいては、生徒の興味・関心や進路希望に応じることのできる教育内容を提供してきており、県立高校改革推進計画においても、再編統合や単独での改編により、新たに専門コースを設置してきました。

専門コース設置状況一覧(平成23年4月現在)

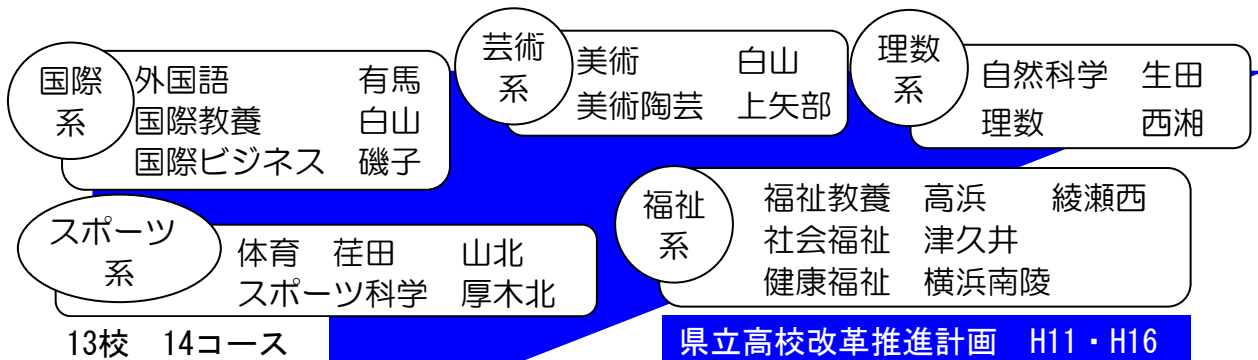
高校名	専門コース分野	専門コース名	クラス	地域	設置
白山※	国際系	国際教養	1	横浜北部	H8
	芸術系	美術	1	横浜北部	H14
荏田	スポーツ系	体育	1	横浜北部	H5
上矢部	芸術系	美術陶芸	1	横浜中部	H7
横浜南陵	福祉系	健康福祉	1	横浜南部	H15
磯子	国際系	国際ビジネス	1	横浜臨海	H3
生田	理数系	自然科学	1	川崎北部	H10
高浜	福祉系	福祉教養	1	平塚	H6
西湘	理数系	理数	1	県西	H17
山北	スポーツ系	体育	1	県西	H7
厚木北	スポーツ系	スポーツ科学	1	厚木海老名愛甲	H8
有馬	国際系	外国語	1	厚木海老名愛甲	H5
綾瀬西	福祉系	福祉教養	1	大和座間綾瀬	H7
津久井	福祉系	社会福祉	1	相模原北部	H8

13校14コース。※は複数専門コース設置校

これまで、専門コースの特色ある教育活動が学校全体の大きな牽引力となって高校の特色づくりに大きな成果をあげている一方で、総合学科高校や新たな専門高校など、専門コースとしての特色ある分野と重なる分野の教育内容を提供する高校が新設されたことや、社会から求められるニーズが変化してきていることなどから、専門コースとして設置している意義が薄れてきている分野もあるなどの課題もありました。

こうした状況から、今後、これまでの成果を生かしながら新たな展開を図るために、「専門コースの教育内容の一層の充実」、「専門学科への改編」、あるいは「コースを解消した上でこれまでの成果を学校全体の特色とする」など、専門コース設置校ごとの個別計画を検討し、特色づくりの一層の明確化を推進していきます。

普通科専門コースの個別計画について



- 専門コースの改善・充実の方向性 〈既設専門コースの改善・充実〉
- 選択科目の拡大や系統的に専門分野を学ぶ教育課程の工夫
- 社会の変化や学習ニーズに応じた専門コースの教育内容の充実
- 専門コースでの取組みを発展させた新しいタイプの高校への改編

これからの県立高校のあり方 H23.3

普通科専門コース設置校

- 学校全体の特色づくりに大きな牽引力
- 新タイプの高校との差異化の必要性
- 社会から求められるニーズ変化への対応

〈これまでの成果を生かしながら新たな展開を図る〉

- ◆ 専門コースの教育内容の一層の充実
- ◆ 専門学科への改編
- ◆ コースを解消し成果を学校全体の特色へ

個別計画にむけて

コース教育内容の充実への対応

- 各校のこれまでの成果の確認
- 新たなニーズや多様な興味・関心に応じる教育内容の充実
- 専門・専門関連科目設置単位数の弾力化
- 教育内容に応じたコース名称の変更等も視野
- 専門コース募集人員弾力化の対応も検討

- ◆ コースにかかる人的配慮の継続
- ◆ 教育内容充実にかかる備品等の更新・整備計画の作成
- ◆ 教育活動経費支援の継続

コースを解消しこれまでの成果を学校全体の特色として展開

- これまでの成果の確認
- 専門コースの成果を生かした普通科高校としての魅力・特色づくりの方向性の検討
- 具体的教育内容の特色・教育課程の検討

専門学科への改編

- 改編による生徒へのメリットの確認
- 学科に対する生徒ニーズの把握
- 普通科との併置による学校運営への対応検討

- ◆ 教育力向上事業等、既存の事業での教育活動支援

- ◆ 専門学科としての人的配置 (コースへの配慮より減の可能性も)
- ◆ 教育内容充実にかかる備品等の更新・整備計画の作成 (職業教育設備整備)
- ◆ 専門学科としての活動経費

個別計画作成の調整 → 平成25年度からの個別計画の展開をめざす

普通科専門コース個別計画 充実・改善の方向性

No	学校	専門コース	充実・改善の方向性	概要
1	白山	【国際教養】	学校全体の特色へ発展	コースを解消し成果を学校全体の取組みへ発展的に拡大し、学校全体で国際理解教育を推進（全校生徒を対象とした国際教養プログラムの展開）
		【美術】	コースの充実	伝統芸術をとおして文化に対する理解と豊かな芸術的感性を育成する方向で充実
2	荏田	【体育】	コースの充実	体育・スポーツの能力・適性の伸長や科学的・専門的知識の深化、及びスポーツマンマインドと豊かな人間性を育成する方向で充実
3	上矢部	【美術陶芸】	コースの充実	コンピュータグラフィックなど、幅広い新たな科目の展開と、より発展的な専門科目を展開する方向で充実
4	横浜南陵	【健康福祉】	コースの充実	多様で幅広い基礎的な知識・技能の習得と社会のニーズや生徒の希望に対応できる、専門的な知識・技能を習得できる専門コース関連科目の充実
5	磯子	【国際ビジネス】	【グローバルコミュニケーション】へ発展	グローバル社会で求められる実践的な「コミュニケーション能力」の育成に重点をおいたコースへ発展
6	生田	【自然科学】	コースの充実	数学、理科等に関する学校設定科目を充実し、自然科学を基礎として、発展的な科学技術へ拡充
7	高浜	【福祉教養】	コースの充実	障害者福祉、児童福祉の分野の拡充と「手話・点字」を含めたコミュニケーション能力を向上する方向で充実
8	西湘	【理数】	コースの充実	理数科学教育の充実・発展と英語によるコミュニケーション能力を育成する方向で充実
9	山北	【体育】	【スポーツリーダー】へ発展	体育・スポーツに関する専門的な知識・理論や技能を有した地域等におけるスポーツ指導者を育成するコースへ発展
10	厚木北	【スポーツ科学】	コースの充実	高大連携の推進によるスポーツに関する科学的なアプローチを強化する方向で充実
11	有馬	【外国語】	【英語】へ発展	言語や文化に対する理解力と国際社会で通用する英語コミュニケーション能力の育成に重点をおいたコースへ発展
12	綾瀬西	【福祉教養】	コースの充実	デイサービスセンターとの連携を強化し、柔軟で発展的な連携カリキュラムを展開する方向でコースを充実
13	津久井	【社会福祉】	【福祉科】へ発展（専門学科へ改編）	これまでのコースの取組みの成果を生かし、社会のニーズを踏まえた介護福祉士を養成するための専門学科へ発展（改編）

(1) 神奈川県立白山高等学校

所在地：横浜市緑区白山四丁目71番1号

課程・学科：全日制・普通科

設置形態：一般コース 7学級、 美術コース 1学級

導入年度：平成25年度

1 背景

○学校沿革（概要）

昭和51年に全日制・普通科高校として開校、平成8年に外国語と異文化に対する理解や伝統文化に関する教養の2つの視点を併せ持つ「国際教養コース」（1学級）が設置された。平成10年度にジュノー・ダグラス高校（米、アラスカ州）、平成13年度に利川第一高校（韓国・利川市）と姉妹校提携を結んでいる。平成14年度には国際教養コースを国際分野と美術分野について一層深く学ぶことが可能となるよう再編し、新たに「国際教養コース」「美術コース」（各1学級）が設置された。

現在、専門コース関連科目は、必修と選択必修をあわせて、国際教養コースでは15科目(24単位)、美術コースは11科目(26単位)を設置している。

○専門コースにおける成果と課題

国際教養コースは、「国際教養プログラム」による国際理解教育が大きな特色となっており、毎年、外国語に興味・関心があり、意欲的な生徒が入学している。また、学習だけでなく学校行事等にも意欲的で、部活動や生徒会活動など特別活動の活性化の原動力になっている。

美術コースは、全国の高校でも珍しい穴窯（登り窯）を利用した「陶芸」が大きな特色となっており、各種コンクール等においても多くの実績を残している。入学者選抜の志願倍率は高く、美術コースへのニーズは高い。

一方、さらなる国際化が進み、国際教養は広く一般的に求められる素養となってきている。また、総合学科など新たなタイプの高校が設置されることにより、専門コースの魅力や特色が相対的に薄れつつあるという課題がある。

2 充実・改善の方向性と目的・育成したい生徒像

○充実・改善の方向性

・国際教養コース

グローバル化の進展にともない、全ての生徒に国際的な視野の育成と多様な価値観や文化が共存する国際社会で生きるためのコミュニケーション能力の育成が求められていることから、これまでの国際教養コースの取り組みの成果を生かし、発展的に解消し、学校全体で国際理解教育の推進を図る。

・美術コース

国際理解教育の視点から日本の伝統芸術をとらえ、自国の文化を理解するとともに、豊かな芸術的感性の育成をめざし、さらなる学校の特徴となるよう、教育活動の一層の充実を図る。また、美術コースの専門科目を一般コースの生徒へも拡大するなど、美術を中心とした新たな学校の特徴化を図る。

○目的・育成したい生徒像

多様な価値観や文化が共存する国際社会の中で、自己や自国の文化をしっかりと理解し、豊かな国際感覚と芸術に親しむ感性をとおして、異文化や他者を理解し、他者との協働により社会貢献ができる人材の育成を図る。

3 充実・改善の内容

○教育課程上の特色

- ・全校生徒を対象とした3年間を通じた国際理解教育の推進。
- ・コミュニケーションを重視とした外国語の授業展開。
- ・絵画、デザイン、映像、工芸など、幅広い芸術分野の専門教育の展開。
- ・協働による焼成など、穴窯（登り窯）を活用した伝統工芸の体験的な授業展開。

○学校全体の取り組み

- ・学校全体で国際理解教育を推進するための国際教養プログラムの充実。
- ・プレゼンテーション能力の向上を図るため、発表や発信を取り入れた授業展開。
- ・学校行事等、さまざまな場面における一般コースと美術コースの混合による活動。

○設備・整備の充実

国際理解教育の推進と美術コースの教育内容の特色や多様なコース関連科目の展開に必要な各種設備等の充実。

(2) 神奈川県立荏田高等学校

所在地：横浜市都筑区荏田南三丁目9番1号

課程・学科：全日制・普通科

設置形態：一般コース 9学級、 体育コース 1学級

導入年度：平成25年度

1 背景

○学校沿革（概要）

昭和54年に全日制・普通科高校として開校。同年、県教育委員会から、個性化推進校委託を受け、個性化推進（増加体育）に係る教育課程の開発研究が始まる。昭和58年に2年次からの文系・理系の選択コースに並べて、体育系を設定した。また、昭和61年には創立以来の保健体育の指導研究に対し、文部省から保健体育優良校として表彰を受けている。平成元年の後期中等教育検討協議会1次報告により、それまでの取組みを生かし、平成5年に、体育コース（1学級）が設置された。

現在、専門コース関連科目は、必修科目として5科目（11単位）を設置している。

○専門コースにおける成果と課題

体育コースの専門科目等（スポーツⅠ・Ⅱ、体育理論、野外活動、体育実験等）をとおして、生徒の体育・スポーツに関する優れた素質や能力・適性の伸長が図られるとともに、体育に関する科学的・専門的知識の深化が見られる。このことは、運動部活動（陸上競技、体操競技、剣道、バスケットボール、ハンドボール、ソフトボール部等）が関東大会や全国大会に出場を果たす等の顕著な成果としても現れ、部活動が盛んな学校という特色にもつながっている。また、一般コースでも盛んな部活動に魅力を感じた生徒が入学するなど、体育コースの成果は学校全体の特色となっている。

一方、運動技能の向上のみならず、超高齢化社会を迎え、その生涯を通じて、健康の保持・増進やレクリエーションを目的とした生涯スポーツの重要性が高まっていることから、教育内容や指導法について検討する必要性が生じている。また、一般コース生徒への専門コース関連科目の拡大など、これまでの成果の普及、拡大が課題として挙げられる。

2 充実・改善の方向性と目的・育成したい生徒像

○充実・改善の方向性

これまでの体育コースの取組みの成果を生かしつつ、体育・スポーツの能力・適性の伸長や科学的・専門的知識の深化等に加え、体育・スポーツをとおしてスポーツマンマインドと豊かな人間性をはぐくむ方向で充実・改善を図る。

○目的・育成したい生徒像

自己研鑽に励み切磋琢磨し、体育・スポーツに優れた素質をより高度な技能に高め、体育に関する科学的・専門的な知識を深めるとともに、健全な心身を培い、生涯スポーツの視点から、将来の体育・スポーツの指導者として必要な基礎的な運動能力・態度を備えた人材の育成を図る。

3 充実・改善の内容

○教育課程上の特色

- ・ 3年間をとおした体育に関する基礎理論やスポーツ実践など、体育・スポーツに関する知識を深め、運動の合理的な実践及び健康増進と体力向上への活用に関する資質・能力の育成を図る。
- ・ 野外活動等の学習により、自然環境を活用したスポーツ・レクリエーションでのマネジメント力の育成を図る。
- ・ 教育課程編成において、専門コース関連科目の一部を一般コースの生徒が選択できるなど、これまでの体育コースの成果を一般コースへ拡大し、学校全体としての一層の特色化を図る。

○学校全体の取組み

- ・ 各種スポーツ講習会、地域とのスポーツ連携や学校行事等、さまざまな場面で、スポーツを通じた一般コースと体育コースの混合による活動。
- ・ 表現力、コミュニケーション能力の育成を図るために学習成果発表等の積極的な展開。

○設備・整備の充実

体育コースの教育内容の特色や体験的な学習活動及び多様なコース関連科目の展開に必要な各種設備等の充実。

(3) 神奈川県立上矢部高等学校

所在地：横浜市戸塚区上矢部町3, 230番地

課程・学科：全日制・普通科

設置形態：一般コース 6学級、 美術陶芸コース 1学級

導入年度：平成25年度

1 背景

○学校沿革（概要）

昭和58年に全日制・普通科として開校。「豊かな個性の伸長をはかる」を教育目標として、個性化教育を推進。特に、地域との協力・連携による陶芸を中心とした美術教育を展開し、地域に開かれた取組みとしても実績を重ね、大きな成果をあげた。また、さまざまな美術展や芸術祭において、入賞するなど、生徒の活躍も見られた。それまでの取組みを生かし、平成7年に美術陶芸コース(1学級)が設置された。

現在、専門コース関連科目は必修と選択必修をあわせて18科目(68単位)が設置され、卒業までに9～11科目(23～28単位)を学習する。

○専門コースにおける成果と課題

美術陶芸コースでは、さまざまな取組みにより豊かな感性をはぐくみ、創造的な活動によって社会や地域との連携を推進している。地域のみならず、県内各地より入学希望があり、広く全県的に美術陶芸コースが認知されている。また、一般コースにも美術や陶芸などの芸術に興味・関心の高い生徒が入学するなど、芸術が学校全体の特色ともなっている。一般コースの生徒も含め、高校卒業後も芸術関連分野で継続して学ぶ希望が高まるなど、大学進学等の進路実績も向上している。部活動では、美術部、陶芸部を始めとした美術系部活動が非常に盛んであり、全国高等学校総合文化祭に連続20年間出場のほか、国際的に活躍するアーティストも輩出している。

一方、美術陶芸コースが特色として定着するにつれ、生徒や保護者から求められる専門教育への期待も高まり、ニーズに応じた分野や内容の充実が求められている。また、一般コースにも美術陶芸に興味・関心の高い生徒が多く入学していることから、美術陶芸コースに対するニーズは高いものがあり、入学者定員の増加についても検討する必要がある。

2 充実・改善の方向性と目的・育成したい生徒像

○充実・改善の方向性

これまでの美術陶芸コースの取組みの成果を生かしつつ、コンピュータグラフィック・映像メディアの分野、建築・空間デザインの分野など、より幅の広い専門コース関連科目の展開と、より発展的な専門科目を展開する方向で充実・改善を図り、学校全体として芸術色を強く打ち出し、神奈川の文化芸術教育の拠点校を目指す。また、中学生や保護者のニーズを検証し、美術陶芸コースの入学者定員の増加も視野に入れた方向で充実・改善を図る。

○目的・育成したい生徒像

さまざまな体験や実践によりはぐくまれた豊かな個性と芸術的感性を生かし、さまざまな場面において、芸術の表現活動をとおして、人や地域・社会を結ぶことができる創造力あふれる人材の育成を図る。

3 充実・改善の内容

○教育課程上の特色

- ・平面や立体の基礎表現から絵画・デザイン・工芸などの発展的な表現科目など、幅の広い専門科目の配置。
- ・大学教授やデザイナー、作家等、さまざまな分野の外部講師による特別授業の展開。
- ・多様な美術関連の進路に対応するため、専門性のある発展的な学習内容の展開。

○学校全体の取組み

- ・第1学年は一般コースと美術コースが混合したクラス編成とし、一般コースと美術陶芸コースの生徒の交流を推進する。
- ・一般コース2、3年の必履修選択科目や自由選択科目として美術陶芸コースの専門コース関連科目を設置。
- ・学校のさまざまな場所をギャラリーとして活用することで学校を「美術館」としてとらえ、学校全体をとおして豊かな感性をはぐくむ。
- ・学校行事や地域交流等で美術陶芸コースの特色を生かした取り組みを行い広く発信することで、文化芸術教育の拠点校の役割を果たす。

○設備・整備の充実

美術陶芸コースの教育内容の特色や実技・実習などの学習活動及び多様なコース関連科目の展開に必要な各種設備等の充実。

(4) 神奈川県立横浜南陵高等学校

所在地：横浜市港南区日野中央二丁目26番1号

課程・学科：全日制・普通科

設置形態：一般コース 6学級、健康福祉コース 1学級

導入年度：平成25年度

1 背景

○学校沿革（概要）

県立高校改革推進計画に基づき、平成15年度に福祉と健康の融合を図る教育展開を目的とした「健康福祉コース」を持つ全日制・普通科高校として開校。専門コース関連科目のうち、「福祉実習」以外の選択科目を、一般コースの生徒も選択できるなど、学校全体として生徒の福祉マインドの育成を図っている。

専門コース関連科目は必修として1年次「健康福祉基礎」、2年次「健康福祉科学」・「からだの科学」・「健康栄養学」、3年次「健康福祉演習」の5科目（10単位）、選択履修として2年次「社会福祉基礎」、3年次「現代医療」・「幼児教育研究」・「社会福祉援助技術」・「福祉実習」・「健康とスポーツ」の6科目（11単位）を設置している。

○専門コースにおける成果と課題

健康福祉コースでは、ボランティアや福祉に興味・関心が高く、学習においても意欲的な生徒が入学し、特別支援学校等近隣施設との連携を生かし、学習活動、生徒会活動、部活動などさまざまな機会での積極的な交流等が行われている。健康福祉コースの生徒のボランティアや福祉に対する取り組みが一般コースの生徒へも拡大し、一般コースにおいても専門コース関連科目の選択者数が増加するなど、学校全体としての特色となっている。また、健康福祉分野で継続して学ぶ希望が高まるなど、進学等の進路実績も向上している。

一方、かつてない超高齢化社会を迎え、福祉の充実や健康の増進の重要性は増し、健康福祉分野における専門教育は広く一般に必要な知識や技能となりつつある。また、健康福祉分野における専門的な知識や技能は日々進化を遂げるなど、健康福祉分野のスペシャリストの必要性も高い。このような、社会のニーズに対応できる教育を提供する必要性が生じている。

2 充実・改善の方向性と目的・育成したい生徒像

○充実・改善の方向性

これまでの健康福祉コースの取組みの成果を生かしつつ、確かな学力の定着と伸長を図るとともに、健康福祉分野で活躍するために必要な専門的な知識や技術を習得できるよう一層の充実を図る。また、超高齢化社会をふまえ、一般コースも含めた学校全体として一層の福祉マインドの育成を図る。

○目的・育成したい生徒像

社会のニーズをとらえ、広く、健康福祉への意識が高く、福祉マインドをもつ人材の育成を図るとともに、将来、健康福祉分野のスペシャリストとして専門的な知識・技能を持ち、社会で活躍できる人材の育成を図る。

3 充実・改善の内容

○教育課程上の特色

さらに魅力ある専門コース関連科目を設置し、新たな健康福祉分野の専門教育を展開する。

- ・多様で幅広い基礎的な知識・技能を習得できる専門コース関連科目の充実
- ・社会のニーズや生徒の希望に対応できる、専門的な知識・技能を習得できる専門コース関連科目の充実

○学校全体の取組み

- ・福祉関連の大学教授や施設等で働く専門職員など、外部講師による特別講義。
- ・福祉マインドを生かし、地域貢献活動や地域との連携したボランティア活動等の取組みの推進。
- ・表現力、コミュニケーション能力の育成を図るために学習成果発表等の積極的な展開。
- ・専門分野を生かした高大連携や高専連携のさらなる推進。
- ・医療、保育、看護、福祉、栄養分野の各種専門的な学習の充実。

○設備・整備の充実

健康福祉コースの教育内容の特色や体験的な学習活動及び多様なコース関連科目の展開に必要な各種設備等の充実。

(5) 神奈川県立磯子高等学校

所在地：横浜市磯子区上中里町444番地

課程・学科：全日制・普通科

設置形態：一般コース 7学級

グローバルコミュニケーションコース 1学級

導入年度：平成25年度

1 背景

○学校沿革（概要）

昭和52年に全日制・普通科高校として開校。国際理解教育を進めるとともに、情報化等の経済社会の進展に対応した教育を推進する目的で、平成3年に国際ビジネスコースが設置された。平成10年度にオーストラリアのビクトリア州立キャンバーウェル高校と姉妹校提携を結び、国際理解教育を推進。平成20年度からはクイーンズランド州のレイベンスホー高校と隔年で相互に訪問するなど、国際交流を進めている。

現在、専門コース関連科目は、必修修と選択履修をあわせて、21科目（48単位）が設置され、卒業までに5科目（11単位）から9科目（21単位）を学習する。

○専門コースにおける成果と課題

国際ビジネスコースでは、国際の視点から各国の高校生訪問団の受入や国際理解研修講座を実施、また、ビジネスの視点から商業系の実学を中心とした専門科目の学習など、特色あるプログラムを展開し、学校の特色となっている。さらに、一般コースにおいても学校の特色を意識した意欲的な生徒が入学し、学校全体として、継続して学ぶ希望が高まるなど、大学進学等の進路実績も向上している。

一方、国際ビジネスコースの取組みをとおして、新たな視点として「コミュニケーション能力」の重要性が確認されるなど、コース設置から20年が過ぎ、国際理解教育の今後のあり方やグローバル社会に必要な能力を育成する実学のあり方等について検討する必要性が生じている。

2 充実・改善の方向性と目的・育成したい生徒像

○充実・改善の方向性

これまでの国際ビジネスコースの取組みの成果を生かしつつ、グローバル社会で求められる実践的な「コミュニケーション能力」の育成に重点を置き、コースの充実・改善を図る。このため、「国際ビジネスコース」を「グローバルコミュニケーションコース」へコース名を変更する。

○目的・育成したい生徒像

自己や自国など、身近なものをしっかりと理解し、他者、他国、異文化等を受け入れ、他者との協働によってグローバル社会において活躍できる実践的なコミュニケーション能力を持った人材の育成を図る。

3 充実・改善の内容

○教育課程上の特色

- ・これまでの国際ビジネスコースの特色を生かしつつ、コミュニケーション能力の育成を柱として、3年間をとおした継続的な教育展開を図る。
- ・専門コース関連科目では、ペアワークやグループワークを取り入れた協働による課題解決型の学習展開によりコミュニケーション能力の育成を図る。
- ・グローバル社会で求められる実践的な情報活用能力と表現力を育成できる専門教育の展開を図る。

○学校全体の取組み

- ・学校行事等、さまざまな場面における一般コースとグローバルコミュニケーションコースの混合による活動。
- ・地域社会と協働で特別活動を展開するなど、外部との連携によるコミュニケーション能力の育成。

○設備・整備の充実

グローバルコミュニケーションコースの教育内容の特色や体験的な学習活動及び多様なコース関連科目の展開に必要な各種設備等の充実。

(6) 神奈川県立生田高等学校

所在地：川崎市多摩区長沢3丁目17番1号

課程・学科：全日制・普通科

設置形態：一般コース 8学級、自然科学コース 1学級

導入年度：平成25年度

1 背景

○学校沿革（概要）

昭和44年に全日制・普通科として開校。平成7年度より3年間「特色ある高校づくり推進校」として指定を受け、自然科学コースの設置について教育課程の研究を進めた。その成果を生かし、平成10年に理科・数学に興味・関心の高い生徒に自然や先端の科学に触れる実験や実習を展開することで、興味・関心をさらに向上させ、将来、自然科学の分野で活躍できる人材の育成を目指し、自然科学コースが設置された。

現在、専門コース関連科目は必修と選択履修をあわせて、5科目（21単位）が設置され、卒業までに4科目（13単位）から5科目（21単位）を学習する。

○専門コースにおける成果と課題

自然科学コースの特色は、中学生や保護者にも十分理解され、数学、理科等に興味・関心があり、学習意欲の高い生徒が入学している。

フィールドワークやサイエンスパートナーシッププロジェクト（SPP）による校外講座などのさまざまな教育活動を積極的に展開することで、自然科学や先端の科学に対する生徒の興味・関心は高まっている。

一方、生徒の自然科学に対する興味・関心は環境問題や新エネルギー問題などの現代におけるさまざまな課題の解決に向けた活動へ広がりを見せており、高度で専門的な知識・技能の習得に対する学習意欲の高まりが見られる。このようなことから、生徒の学習ニーズや時代の変化に対応した教育課程の見直しが求められている。また、フィールドワークやサイエンスパートナーシッププロジェクト（SPP）による校外講座等を通して高まった興味・関心をさらに深める発展的な取組みの検討が必要である。

2 充実・改善の方向性と目的・育成したい生徒像

○充実・改善の方向性

これまでの自然科学コースの取組みの成果を生かしつつ、数学、理科等に関する学校設定科目を充実し、自然科学への興味・関心を基礎として、発展的な科学技術へ拡充する方向でコースの充実・改善を図る。

○目的・育成したい生徒像

科学技術の恩恵を一面的にとらえるのではなく、環境にやさしく自然と共存できるなど、持続可能な社会を目指した科学技術のあり方について考え、国際的な視野に立って活躍できる人材の育成を図る。

3 充実・改善の内容

○教育課程上の特色

- ・物理、化学、生物、地学より最大で4科目（17単位）履修ができるなど理科に関する学習の重点化。
- ・学校設定科目（自然科学研究）及び学校設定教科・科目（環境・環境科学）の発展・充実。
- ・フィールドワークや先端の科学技術研究所等との連携などによる校外講座の設定。
- ・探究型の科目「課題研究」を3年次に設置し、課題解決能力の育成を図るとともに継続して学ぶ希望など、発展的な科学技術への興味・関心を高める。

○学校全体の取組み

- ・サイエンスパートナーシッププロジェクト（SPP）をはじめ、さまざまな科学技術、理科、数学教育に関する事業等を活用し、学校全体としての理数教育の充実を図る。
- ・学校行事等、さまざまな場面において一般コースと自然科学コースの混合による活動を推進する。

○設備・整備の充実

自然科学コースの教育内容の特色や体験的な学習活動及び多様なコース関連科目の展開に必要な各種設備等の充実。

(7) 神奈川県立高浜高等学校

所在地：平塚市高浜台8番1号

課程・学科：全日制・普通科

設置形態：一般コース 5学級、 福祉教養コース 1学級

導入年度：平成25年度

1 背景

○学校沿革（概要）

昭和9年4月に平塚市立実科高等女学校として開校し、昭和18年3月に平塚市立高等女学校、昭和23年3月に平塚市立高浜女子高等学校、昭和25年4月に平塚市立高浜高等学校へ改称、昭和34年4月に平塚市から神奈川県に移管され、神奈川県立高浜高等学校となる。家庭科教育の取組みに力を入れ、昭和48年に家庭クラブ全国大会研究発表で優勝。平成4年に特色ある高校づくり推進校として指定を受け、平成5年には男女共学となり、多様化した生徒の実態に対応するための多様な選択科目及び専門コース設置に向けた具体的な研究を推進。その成果を生かし、平成6年に福祉教養コースが設置された。

現在、専門コース関連科目は、必修科目として5科目（14単位）を設置し、理論と共に実習、演習を通じた体験的な学習活動を展開している。

○専門コースにおける成果と課題

福祉教養コースでは手話・点字と介護の分野を中心とした社会福祉教育が特色となっており、福祉関係に興味・関心があり、学習意欲も高く、ボランティア活動に対する意識の高い生徒が入学している。また、一般コースでも福祉関係に興味・関心の高い生徒が入学するなど、社会福祉教育は学校全体の特色となっている。手話コミュニケーション部をはじめ、各種ボランティア活動への生徒の参加は、年間800人、延べ4,000時間を超え、地域からは福祉教育の推進校として理解が深まっている。卒業生の多くは、福祉、医療、教育関係などの社会福祉に関連の深い分野に進んでいる。

一方、コース設置から18年が過ぎ、社会福祉教育の新たな基本理念や時代の変化に対応した教育内容の検討等が必要となっている。

2 充実・改善の方向性と目的・育成したい生徒像

○充実・改善の方向性

これまでの福祉教養コースの取組みの成果を生かしつつ、障害者福祉、児童福祉の分野の拡充を図るとともに、「手話」「点字」を含めたコミュニケーション能力の向上とボランティア活動の一層の充実を図る。

○目的・育成したい生徒像

福祉教育の中でも特に障害者福祉、児童福祉の分野において、相手の立場や気持ちを理解し、より良い関係が築けるコミュニケーション能力を持った、ボランティア精神あふれた人材の育成を図る。

3 充実・改善の内容

○教育課程上の特色

- ・障害者福祉、児童福祉の2つの分野を柱とし、それぞれ3年間をとおした継続的な専門教育の展開を図る。
- ・手話、点字を中心とした実践的なコミュニケーション能力の育成を図る。
- ・福祉科の科目では実習・演習を重視した授業を展開し、技能・技術の習得に向けた質の高い専門教育の展開を図る。

○学校全体の取組み

- ・表現力、コミュニケーション能力の育成を図るために学習成果発表会等の積極的な展開を図る。
- ・一般コースにも外部施設における実習を含む福祉科の選択科目を設置し、学校全体で福祉教育を推進。

○設備・整備の充実

福祉教養コースの教育内容の特色や体験的な学習活動及び多様なコース関連科目の展開に必要な各種設備等の充実。

(8) 神奈川県立西湘高等学校

所在地：小田原市酒匂1丁目3番1号

課程・学科：全日制・普通科

設置形態：一般コース 7学級、理数コース 1学級

導入年度：平成25年度

1 背景

○学校沿革（概要）

昭和32年に全日制・普通科高校として開校、平成17年に県立高校改革推進計画の前期計画により、理数コース（1学級）が設置された。同年、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定され、「アースシステム教育による教育課程の開発と実践」（SSH：第Ⅰ期：平成17年度～22年度）に取り組んだ。その成果を生かし、平成23年度からは「国際社会で活躍できるすぐれた科学技術系人材を育成する教育方法の開発と実践」（SSH：第Ⅱ期：平成23年度～27年度）に取り組んでいる。

現在、専門コース関連科目は必修科目として3科目（16単位）を設置している。

○専門コースにおける成果と課題

理数コースが設置された平成17年度以降、継続してSSHに指定され、理科・数学に興味・関心の高い生徒が入学し、科学技術、理科、数学教育に関する教育課程等の研究開発に取り組むことで、特色ある教育活動が展開できた。また、課題研究等の成果が外部のコンテスト等で評価されるなど、実績も認められる。卒業後も継続して学ぶ希望が高まるなど、大学進学等の進路実績も向上している。理数コースでの取組みの成果を一般コースにも拡大展開するなど、理数コースの活動は学校全体の特色となっている。

今後は、さらに進んだ教育方法の開発と実践を行うとともに、地域の教育にも成果を還元していくことを課題としている。

2 充実・改善の方向性と目的・育成したい生徒像

○充実・改善の方向性

これまでの理数コースの取組みの成果を生かしつつ、理数・科学技術教育のさらなる充実と発展を図る。また、英語教育に一層の力を入れ、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

○目的・育成したい生徒像

グローバル化が進む現代社会に対応できる科学者や技術者を育成することを目指し、英語力とプレゼンテーション能力を身に付け、国際社会においてリーダーシップを発揮し、活躍できる人材を育てる。

3 充実・改善の内容

○教育課程上の特色

- ・3年間をとおした「SSH理数課題研究」を設定し、継続的に探究活動を推進する。
- ・発表活動や英語コミュニケーション能力育成など、言語活動重視の授業展開を図る。
- ・「SSH防災」や「SSH理数実践」など、最先端の科学技術に関する講演や施設見学など、特色ある集中講座を展開する。

○学校全体の取組み

- ・学校行事等、さまざまな場面において、一般コースと理数コースが協働した活動を展開する。
- ・一般コースを対象に選択科目「SSH探究活動」を設置し、これまでの成果の拡大を図る。
- ・学校全体で学習成果発表の機会を設けるなど、発信型のコミュニケーション力の育成を図る。
- ・地域の小中学校との教育交流を進め、新たな中核的活動を展開する。

○設備・整備の充実

理数コースの教育内容の特色や体験的な学習活動及び多様なコース関連科目の展開に必要な各種設備等を充実させる。

(9) 神奈川県立山北高等学校

所在地：足柄上郡山北町向原2,370番地

課程・学科：全日制・普通科

設置形態：一般コース 4学級、 スポーツリーダーコース 1学級

導入年度：平成25年度

1 背景

○学校沿革（概要）

昭和17年に山北町立山北実科高等女学校として開校、昭和21年に山北町から神奈川県に移管され、神奈川県立山北高等女学校となる。昭和25年に神奈川県立山北高等学校に改称。平成4年に特色ある高校づくり推進校、平成5年に個性化推進校の委託校として、体育の授業におけるトレーニング方法や教育課程の研究を推進。平成6年には、特色ある高校づくり推進校及び個性化プラン支援校として、地域に根ざした専門コースの設置に向けて研究し、平成7年に地域社会のスポーツ活動に寄与できる人材の育成を目的として体育コース（1学級）が設置された。

現在、専門コース関連科目は必修と選択履修をあわせて、8科目（19単位）が設置されている。

○専門コース設置の成果と課題

体育コースは、県西地域において唯一、体育・スポーツ関連分野を専門的に学ぶことができることから、体育・スポーツに興味・関心が高く、学習意欲の高い生徒が入学している。体育コースではスポーツ指導者の育成に重点をおいた教育活動を展開していることから、リーダーシップをとる生徒が多く、教科活動や部活動を通して、一般コースの生徒へ与える影響も大きく、学校全体において活発な部活動の推進や規範意識の向上に大きく貢献している。また、地域のスポーツ大会や行事へ積極的に参加する等、地域と連携した特色ある教育活動を展開している。

一方、スポーツ指導者にはいっそう高い資質や能力が求められており、スポーツ指導者の養成に向けた教育内容や指導方法について検討する必要性が生じている。また、体育・スポーツにはさまざまな分野があることから、スポーツ指導者の養成にあたっては、幅広い分野で専門性の高い指導者の確保が求められる。

2 充実・改善の方向性と目的・育成したい生徒像

○充実・改善の方向性

これまでの体育コースの取組みの成果を生かしつつ、スポーツ指導者の育成をより明確にするとともに、今日求められているスポーツ指導者としての資質や能力に対応できるよう、教育内容の一層の充実を図るため、「体育コース」を「スポーツリーダーコース」へコース名を変更する。

○目的・育成したい生徒像

体育・スポーツに関する専門的な知識・理論や技能を有し、地域・職場などにおける体育・スポーツの指導者として、体育教育やスポーツの振興・発展に貢献できる人材の育成を図る。

3 充実・改善の内容

○教育課程上の特色

- ・学校全体の必修修体育の単位数を7単位から8単位へと増加する。
- ・大学（学部）や体育、保健、看護医療、幼児教育系専門学校等との連携を深め、より専門的な知識や技能を習得できる授業の展開を図る。
- ・地域との密接なつながりを生かしたスポーツ、実習やボランティア活動を経験できる授業を新たに設ける。
- ・生涯スポーツの指導者育成の観点から、発展的な授業内容等の検討を図る。

○学校全体の取組み

- ・学校行事や授業をとおして一般コースも含めた学校全体で、生涯スポーツの大切さや楽しさを学ぶ。
- ・一般コースにおいても必修修体育の単位を増やすとともに専門コースの内容を踏まえた科目を必修修選択科目に設置することで、学校全体として健やかな体と豊かな心を育む。
- ・学校行事、ボランティア活動、教科外活動等、さまざまな場面において一般コースとスポーツリーダーコースの混合による活動。
- ・スポーツリーダーコースの特色を生かし、部活動の一層の充実を図る。

○設備・整備の充実

スポーツリーダーコースの教育内容の特色や体験的な学習活動及び多様なコース関連科目の展開に必要な各種設備等の充実。

(10) 神奈川県立厚木北高等学校

所在地：厚木市下荻野886番地

課程・学科：全日制・普通科

設置形態：一般コース 6学級、 スポーツ科学コース 1学級

導入年度：平成25年度

1 背景

○学校沿革（概要）

昭和53年に全日制・普通科として開校。平成5年に文部省より生徒指導研究推進校の指定を受け、生徒指導を効果的なものとする協力体制の在り方（特に地域との連携）について研究。地域の中학생に対するスポーツの指導や交流試合を行うなどのさまざまな地域連携を推進。その成果を生かし、平成8年にスポーツ科学コース（1学級）が設置された。

現在、専門コース関連科目は、必修修と選択履修をあわせて、8科目（30単位）を設置している。

○専門コースにおける成果と課題

スポーツ科学コースでは、競技力の向上とともにスポーツを科学的に分析するなど、スポーツに対する理解を深めようとする意欲の高い生徒が入学している。また、部活動においては、スポーツ科学コースの生徒が部活動を牽引し、その結果として、一般コースの生徒も含め、部活動が活性化するなど、活発な部活動は学校全体の大きな特色となっており、スポーツ科学コース設置の効果は大きい。学習展開においては、隣接する神奈川工科大学と連携し、スポーツを科学技術の視点からとらえた専門的な授業が展開され、特色となっている。

一方、卒業後の進路について体育・スポーツ科学コースでの学習成果を生かした進路が限定的であることが課題となっている。

2 充実・改善の方向性と目的・育成したい生徒像

○充実・改善の方向性

これまでのスポーツ科学コースの取組みの成果をいかしつつ、高大連携の推進によるスポーツに関する科学的なアプローチを強化し、より一層のコースの充実・発展及び部活動のさらなる振興・発展を図る。

○目的・育成したい生徒像

スポーツについての科学的・専門的な理解及び高度な技能の習得を目指し、主体的で、合理的、計画的な学習活動を通して、健やかな心身をはぐくみ、生涯を通してスポーツ振興・発展の担い手となる人材の育成を図る。

3 充実・改善の内容

○教育課程上の特色

- ・専門教科「体育」の科目の中で、選択した科目を深く理解し、さらに高度な技能を身に付けるために、部活動との関連を図りながら3年間をとおした継続的な教育を展開する。
- ・スポーツを科学的に分析し、スポーツに対する理解を深める科目「スポーツ情報管理A～C」について、さらに「する」「みる」「支える」といった視点を加え、スポーツをより深く科学的に研究する科目として充実を図る。
- ・神奈川工科大学との連携において、より一層の学習の深化を図るため、大学での研究への参加や大学の授業の受講など、より高度なアプローチによりスポーツの科学研究を推進し、卒業研究発表の充実を図る。

○学校全体の取組み

- ・大学との連携授業をはじめ、さまざまな外部の教育資源を活用した教育活動の展開。
- ・スポーツ科学コースと一般コースが一体となった取組みによる部活動の活性化を学校全体の取組みとしてより一層推進する。

○設備・整備の充実

スポーツ科学コースの教育内容の特色や体験的な学習活動及び多様なコース関連科目の展開に必要な各種設備等の充実。

(11) 神奈川県立有馬高等学校

所在地：海老名市社家240番地

課程・学科：全日制・普通科

設置形態：一般コース 6学級、 英語コース 1学級

導入年度：平成25年度

1 背景

○学校沿革（概要）

昭和58年に全日制・普通科高校として開校。昭和59年に県教育委員会より外国語教育研究推進校の指定を受け外国人講師を招いた英語の授業を実践。また、平成3年および平成4年には英語指導助手（Assistant English Teacher）拠点校の指定を受け、週3日AETによる授業が行われるようになった。その成果を生かし、平成5年に外国語コース（2学級）が設置された。平成10年よりCrown Point High School（インディアナ州）と1年おきに姉妹校訪問を実施しているほか、平成20年からユネスコスクールに加盟している。

現在、外国語コースは1学級となっており、専門コース関連科目は、必修履修と選択履修をあわせて、10科目（25単位）が設置され、卒業までに3科目（7単位）から5科目（13単位）を学習する。

○専門コースにおける成果と課題

外国語コースは、姉妹校交流やユネスコスクールの活動における中心的な役割を果たし、教育目標の一つである国際理解教育を推進している。英語に高い興味と関心を持つ生徒が入学してきており、継続して学ぶ希望など、大学進学等の実績も向上している。また、専門コース関連科目の一部は一般コースの生徒も選択できることから、一般コースの生徒の中には充実した英語教育を期待して入学する生徒もいるなど、外国語コースは学校全体の大きな特色となっている。

一方、近年の高校教育改革により総合学科高校や単位制普通科高校などの特色ある新しいタイプの高校が設置されるなど、外国語コースの魅力や特色が薄れつつある。また、さらなるグローバル化の進展にともない、国際理解教育推進の視点から外国語コースのあり方について検討する必要も生じている。

2 充実・改善の方向性と目的・育成したい生徒像

○充実・改善の方向性

これまでの外国語コースの取組の成果を生かしつつ、言語や文化に対する理解力の育成と国際社会で円滑に意思の疎通を図ることができるために必要な英語コミュニケーション能力の育成の2点に重点を置き、外国語の中でも英語に特化した方向でコースの充実・改善を図る。このため、「外国語コース」を「英語コース」へコース名を変更する。

○目的・育成したい生徒像

日本を取り巻く国際化の流れの中で、社会・経済活動のグローバル化は進み、今まで以上に主体的に考え、判断し、行動できる人材が求められている。そのため、自らを律する強い意志を持ち、他国や異文化にも関心を持ちながら多様な文化を理解でき、英語によるコミュニケーションをとおして、他者との協働で国際社会に貢献できる人材の育成を図る。

3 充実・改善の内容

○教育課程上の特色

言語や文化に対する理解力の育成と積極的な英語コミュニケーション能力の育成という2つの目標達成のため、それぞれ3年間をとおした教育展開を図る。

- ・専門教科「英語」を中心とした英語教育の展開
- ・「総合英語」による英語コミュニケーション能力の育成
- ・「異文化理解」による国際理解の推進

○学校全体の取組み

- ・クラス編成や学校行事等、さまざまな場面において一般コースと専門コースの混合による教育活動を行うことで交流を図るなど、一体感のある生徒集団の工夫を図る。
- ・自らの英語運用能力を知り、学習目標を設定する一助とするために実用英語技能検定等の受検を奨励し、学校全体で英語学習への意識を向上させ、英語活用能力の伸長を図る。

○設備・整備の充実

英語コースの教育内容の特色や体験的な学習活動及び多様なコース関連科目の展開に必要な各種設備等の充実。

(12) 神奈川県立綾瀬西高等学校

所在地：綾瀬市早川1, 485番地の1

課程・学科：全日制・普通科

設置形態：一般コース 7学級、 福祉教養コース 1学級

導入年度：平成25年度

1 背景

○学校沿革（概要）

昭和58年に全日制・普通科高校として開校。平成2年に県教育委員会より「県立高等学校福祉実践校」に指定され、ボランティア活動の推進や難民対象の日本語教室を実施。平成5年には県教育委員会より、「個性化プラン研究推進校」、平成6年には「特色ある高校づくり推進校」の指定を受け募金活動や地域清掃活動、老人ホーム訪問、手話教室等のボランティア活動に取り組んだ。その成果を生かし、平成7年に福祉教養コース（1学級）が設置された。平成13年には綾瀬西デイサービスセンターが学校敷地内に開所され、夏季福祉実習等による連携教育を開始した。

現在、専門コース関連科目は必修と選択履修をあわせて、5科目（12単位）が設置され、卒業までに4科目（10単位）から5科目（12単位）を学習する。

○専門コースにおける成果と課題

福祉教養コースでは、学校敷地内に設置されたデイサービスセンターとの連携による福祉教養教育の展開により、「福祉マインド」が育成され、福祉関係の進路選択者も増加するなど、生徒のキャリア形成に大きな成果をあげている。また、日常生活の中に福祉が存在することから、福祉教養コースのみならず、福祉マインドは学校全体に浸透している。

一方、コース設置から15年が過ぎ、福祉を取り巻く環境も変化している。このため、福祉教養教育のさらなる推進に向け、新たな基本理念、教育展開を考える必要性が生じている。また、デイサービスセンターとの連携では、相互の活動時間の問題から交流機会も限定的である。

2 充実・改善の方向性と目的・育成したい生徒像

○充実・改善の方向性

これまでの福祉教養コースの取組みの成果を生かしつつ、デイサービスセンターとの連携を強化し、柔軟で発展的な連携カリキュラムを展開する方向で一層の充実を図る。

○目的・育成したい生徒像

さらなる少子高齢化が進むこれからの時代において、自立協働の精神にたって、福祉マインドを身につけ、福祉・ボランティアへの意欲と理解を深め、自主的・主体的な態度で社会生活や自然環境の課題を解決しようとする人材の育成を図る。

3 充実・改善の内容

○教育課程上の特色

- ・ デイサービスセンターと連携した3年間をとおした継続的な福祉に関する実習・演習をとおして、実体験を基にした福祉マインドの育成を図るとともに実践的な知識・技能の習得を図る。
- ・ 作業所や保育園と連携し、長期休業を利用した集中講座「社会福祉実習」の展開を図る。
- ・ 福祉工学などの分野を視野に入れ、理系の選択科目を設置した新たな福祉教育の展開を図る。

○学校全体の取組み

- ・ 一般コースの生徒に対する福祉専門科目の選択の拡大など、学校全体で進める福祉マインドの育成
- ・ 学校とデイサービスセンターが共存する環境の整備及びあり方の検討
- ・ 学習の成果発表等のあり方の検討
- ・ 福祉教養コースの生徒と一般コースの生徒の交流の機会の拡大

○設備・整備の充実

福祉教養コースの教育内容の特色や体験的な学習活動及び多様なコース関連科目の展開に必要な各種設備等の充実。

(13) 神奈川県立津久井高等学校（全日制）

所在地：相模原市緑区三ヶ木272番地の1

課程・学科：全日制・普通科、専門学科
設置形態：普通科 5学級、福祉科 1学級
導入年度：平成25年度

1 背景

○学校沿革（概要）

津久井郡立乙種蚕業学校を前身とし、昭和23年に学校組合立津久井高等女学校が神奈川県に移管され、神奈川県立津久井高等学校となる。その後、クラブや部活動を中心に各施設でボランティア活動等が行われ、平成4年から「福祉技術」の講座を開講し、福祉教育を推進。その成果を生かし、高齢化社会や地域の社会福祉に貢献できる人材育成を目指し、平成8年に社会福祉コース（1学級）が設置された。

現在、専門コース関連科目は、必修修と選択履修をあわせて、8科目（48単位）が設置され、卒業までに7科目（30単位）から8科目（48単位）を学習する。

○専門コースにおける成果と課題

社会福祉コースは、県立高等学校で唯一、「介護福祉士」国家試験受験資格の取得が可能であり、国家試験受験者の約半数が合格するなど、大きな特色となっている。福祉に興味・関心が高く、学習意欲の高い生徒が入学している。介護施設等における実習やボランティア活動の展開により地域との交流も促進され、就職希望者の約半数が地域の介護施設に就職するなど、地域の介護福祉の推進において重要な役割を担っている。

一方、介護福祉士国家試験の受験を目指す生徒は、資格取得のために卒業までに必要となる単位数が100単位を超える状況となっている。今後、医療ケア分野の科目の履修など、介護福祉士国家試験受験資格の取得には更なる修得必要単位数の増加が見込まれるため、教育課程を再検討する必要性が生じている。また、介護福祉士国家試験受験資格が取得できる福祉系高等学校として、高度な専門教育を展開するため、専門性の高い指導者の必要性が求められる。

2 充実・改善の方向性と目的・育成したい生徒像

○充実・改善の方向性

これまでの社会福祉コースにおける取組みの成果を生かしつつ、豊かな人間性の涵養と福祉に関する専門性の向上の視点で教育内容をとらえ直し、超高齢化社会などの社会的な背景も踏まえ、普通科「社会福祉コース」を専門学科「福祉科」へ改編する方向で充実を図る。

○目的・育成したい生徒像

福祉に携わる者として必要な豊かな人間性を持つとともに、介護福祉士の養成課程で習得した高度な専門性を兼ね備え、今後の超高齢化社会において、地域や社会に積極的に貢献できる生徒の育成を目指す。

3 充実・改善の内容

○教育課程上の特色

- ・専門学科の特性を生かし、各学科に共通する必修科目を専門科目で代替するなど、新たな教育課程を編成することで、効果的で高度な専門教育の展開を図る。
- ・行政・医療・教育などの分野における外部専門機関との連携により、短期集中講座を開設するなど、さまざまな学習の機会を設定するとともに、特別活動等において講演を行うなど、介護福祉士に向けたキャリア教育の推進も図る。

○学校全体の取組み

- ・学科の特色や取組みを積極的に地域へ発信するなど、広報活動の充実を図り、地域との連携を強化する。
- ・普通科・専門学科合同による学習成果発表会等の教育活動を工夫・実施することにより、両学科の特色を生かした学校づくりを推進する。

○設備・整備の充実

専門学科「福祉科」の教育内容の特色や体験的な学習活動及び多様な福祉科関連科目の展開に必要な各種設備等の充実。

